

新型コロナウイルス感染症対策 ～ 介護と仕事の両立 ～

昨今の状況により、在宅介護での感染対策や在宅介護の継続に必要なと思われる課題についてその対策や注意点など5つのポイントについて記載いたします。

今回のこの状況が長ければ数年にも及ぶと言われています。必要な時にすぐに対応できるように準備ができる時に準備をしておきましょう。

◆ 在宅介護に必要な感染対策について

在宅介護の場合、介護者が外からウイルスを運んでくる場合があります。その際、自宅にいる高齢者の方に感染しないようにしないといけません。

- ① 外から帰宅したらまず手洗いと手指消毒の実施。
- ② 着替えもしくはシャワーの実施（可能であれば）

この2点である程度は予防することができます。

また、外からの来客（ヘルパーや親族）の訪問時には、①を徹底してお願いし、②については服の上から着用できる使い捨てのエプロン（割烹着タイプ）などとマスクを着用するようにしてください。

最近ではレインコートなどを代用するような病院も多いです。

使い捨てが理想ですが、使い捨てが難しい場合は、外側を触らないように脱ぎ、洗濯を実施してください。当然、脱いだものを触った後は手洗いと手指消毒を実施してください。

◆ ホームヘルパーやデイサービス、ショートステイサービスが利用できなくなった場合

感染症が拡大すると、利用していたデイサービスやヘルパー事業所・施設などが利用できなくなるのが想定されます。近隣で利用できる事業所や施設をあらかじめ探しておくことも有効です。

また、実際に利用できなくなった場合の代替えサービスを検討してください。

入浴	<ul style="list-style-type: none">・訪問入浴介護（自宅に浴槽を運び、入浴サービスが可能）・訪問介護（自宅の浴槽が利用可能であれば、ヘルパーによる入浴介護が可能）・訪問看護（訪問介護と同様に、看護師による入浴介護が可能）
訪問介護	<ul style="list-style-type: none">・家政婦派遣、家事代行サービスなどを民間の介護保険外事業サービス・小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護など同様の・介護サービスの利用
ショートステイ	<ul style="list-style-type: none">・小規模多機能型居宅介護にショートステイ機能があります。

※利用するための条件などがありますので、自治体などのホームページをご確認ください。

◆ 施設に入っている家族などと面会ができなくなった場合

現在、多くの介護施設などで面会の制限があり、ほとんどの場合が家族と会えない状況となっております。

面会ができなくなると不安が大きく、ストレスも増えます。

いくつかの施設ではオンラインでの面会などを実施している施設もあります。

介護職の負担も気になるところなのであまり無理も言えませんが、事前に施設に連絡しオンラインなどでの対応をお願いしてみるのも一つの手です。

環境などが整っていない場合もありますので、スマホやタブレットなどをこちらで準備し、訪問して依頼すると介護職の負担も軽減されるので対応もしやすくなると思います。

◆ 認知症の方に対する対応など

様々な制限が出ると、認知症の方も閉じこもることしかできなくなり、症状が悪化することもあります。

できるだけ普段の行動を維持してもらうのが認知症の方には最適です。

散歩の習慣があるかたは、感染対策（マスク・手洗い・消毒）などを実施し継続してもらうことも一つの方法です。どうしても外出したい方の場合は、そのような対応もご検討ください。

認知症の方の行動を制限すると、家族のストレスも増大しますので、どうしても納得いただけない場合など感染対策を実施し、最小限で行ってください。

◆ 在宅介護の継続

面会ができなくなり、不安も大きくなると施設から在宅介護へと退所を検討する方もあり、在宅介護を選択する方も多いと思いますが、在宅介護は負担も大きいです。

現在、施設入所されている方は、施設入所を継続してください。

自宅よりも施設の方が感染対策も実施しやすく、看護師や介護職などプロが多くいます。体調変化にも気づいてもらえ対応も早いです。

また、様々な制限が出てくると在宅介護にも支障が発生し、負担も大きくなります。

介護サービスなど利用できるものは感染対策を実施し継続的に利用してください。サービスの利用制限など利用できなくなった場合でも代替えサービスの利用なども感染症対策を実施し検討してください。

新型コロナウイルスの感染も脅威ではありますが、家族様が体調不良となって在宅介護が継続できなくなった場合も同様です。

感染対策をしっかり実施し、この困難を乗り越えましょう。

◇ 参考文献

- ・厚生労働省「高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版」（2019年3月）
- ・佐々木健著、西谷達也監修「認知症ケアと予防の基本」（2014年8月）